



平成 17 年 2 月 22 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所 3 , 4 号機の安全審査に係る追加調査の実施について

当社は、平成 16 年 3 月 30 日に敦賀発電所 3 , 4 号機増設の原子炉設置変更許可申請書を経済産業省に提出し、現在、国による安全審査を受けているところですが、本日原子力安全・保安院から、安全審査に万全を期すため、添付のとおり追加調査を実施するよう指示を受けました。

当社としては、今後この指示に従い準備を進め、順次調査に着手してまいります。

< 添付資料 >

- (1) 追加調査指示文書
- (2) 敦賀発電所 3 , 4 号機 追加調査について

以 上



経済産業省

平成 17・02・15 原院第 1 号
平成 17 年 2 月 22 日

日本原子力発電株式会社
取締役社長 市田 行則 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 松永 和夫
NISA-152d-05-2



日本原子力発電株式会社敦賀発電所 3 号炉及び 4 号炉の増設に係る追加 調査の指示について

原子力安全・保安院では、貴社より平成 16 年 3 月 30 日付けで提出された敦賀発電所原子炉設置変更許可申請書（3 号及び 4 号原子炉の増設）について、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会耐震・構造設計小委員会等の専門家の意見を聴取しつつ安全審査を行っているところであるが、最近の文献等を踏まえ、敦賀発電所の敷地周辺の活断層に係るデータを一層拡充することによって安全審査に万全を期すため、下記の事項について追加調査を行い、その結果を当院に報告するよう指示する。

記

1. 甲楽城断層、山中断層、柳ヶ瀬断層の活動性、連続性等
 - ①甲楽城断層南端部付近、山中断層、柳ヶ瀬断層北端部付近の詳細地表地質調査、ボーリング調査、はぎとり調査等の追加。
 - ②甲楽城断層及びその北方延長海域の海上音波探査の追加。

2. 浦底断層、ウツロギ峠・池河内断層、柳ヶ瀬山断層の活動性、連続性等

1) 浦底断層

- ①敷地北部におけるボーリング調査、トレンチ調査の追加。
- ②敷地南部における電気探査、反射法地震探査、海上音波探査等の追加。
- ③浦底断層の北方延長海域の海上音波探査、海底地形面調査の追加。
- ④浦底断層の南方延長海域の海上音波探査、ボーリング調査の追加。

2) ウツロギ峠・池河内断層、柳ヶ瀬山断層

- ①ウツロギ峠・池河内断層の南部及び柳ヶ瀬山断層の詳細地表地質調査、ボーリング調査等の追加。
- ②ウツロギ峠・池河内断層の北方延長海域の海上音波探査の追加。

3. 野坂断層の海域への連続性

野坂断層の北西方延長海域の海上音波探査の追加。

4. 三方断層の海域への連続性

三方断層北部付近の日向湖沖合の海上音波探査の追加。

以上

敦賀発電所3,4号機 追加調査について

申請前の検討

- 安全審査に必要な活断層に関する調査は、原子力安全委員会が定めた「耐震設計審査指針」「地質、地盤に関する安全審査の手引き」等に基づき、敷地を中心とする半径約30kmの範囲について綿密に実施
〔 文献調査、海上音波探査、空中写真判読、地表地質調査、ボーリング調査 等 〕
- 調査結果をもとに総合的な検討(活動性、連続性等)を実施し、耐震設計に考慮する活断層の位置、長さ等を評価

原子炉設置変更許可申請
(平成16年3月30日)

安全審査

国として、活断層に係るデータを一層拡充することによって安全審査に万全を期すため、今回追加調査の実施を指示



申請時のデータに加えて更なるデータの精度向上を図る観点から、近年実用化・改良された調査方法も用いて追加調査を実施

追加調査の範囲	
陸域	
海域	

図は、申請前の調査範囲のうち、敷地を中心とする半径約30kmの陸域及び海域を示す。



凡例

- 申請前の調査により確認している断層^注
- 追加調査指示に関連する断層

(注) 活断層及び古い断層のすべてを表示。